

會からの報告

表 彰 状

三 澤 勝 衛 君

君ハ資性温厚進取ノ氣性ニ富ミ徹頭徹尾苦學力行ノ人多趣味ニシテ往ク
トシテ佳ナラザルハナシ未ダ本邦人ニシテ太陽黑點觀測ヲ行フモノ一人
モナキ時ニ當リ卒先シテコレガ觀測ヲ開始シ瑞西ノウオルファ氏ト東西
相應ジテソノ結果ヲ學界ニ報告シ眞ニ十年一日ノ如ク斯道ニ貢獻セシコ
ト實ニ大ナリ。コ、ニ總會ノ決議ニヨリ本會名譽會員ニ推薦シ紀念品ヲ
贈呈シソノ功勞ヲ表彰ス

昭和六年十一月二十二日

天文同好會長理學博士 山 本 一 清

廣島に於ける總會の概況

既に豫告して置いた通り、去る十一月二十二日と同二十三日と兩日にわたり、廣島で本會第十回總會が開かれた。誠に好都合なことにも、山本會長は月の半ば頃から廣島文理科大學へ講義に行つて居られたので、廣島支部との連絡も良くとれた。總會のためには、廣島支部の會員たち、殊に中村、大橋兩氏が可なり以前から引續き種々面例な準備や盡力をせられた。

いよ々々二十二日午後、岡山から水野副會長と荒木健兒氏とが來着せられ、其の夜、高等師範の講堂で大講演會が開かれた。生憎、京都から中村氏が所用のため出席されなかつたが、御親切にも講演の原稿を豫め送つて下さつたので、宮本正太郎氏に代讀して貰つた。講演會は

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 望 遠 鏡 | 幹 事 中 村 要氏 (宮本氏代讀) |
| 2. 彗星の天文學 | 會 長 山 本 一 清氏 |

山本會長の講演の後、本會製作の幻燈畫を多く映寫して三百の會衆に満足を與へた。

翌二十三日、午前中は、文理科大學内に於ける天文展覽會が賑はつた。廣

島の會員たちは言ふに及ばず、京都、大阪、姫路、岡山、今治、小郡等の各地から來會された人々は夥しい陳列品を飽かず見られた。

午後は、一行が宮島へ行き、嚴島神社内外の散歩の後、錦水館の大廣間で總會協議會が開かれた。水野副會長が座長となり、山本池田兩氏等から過去一年間の諸種の報告があり、次いで會則の改正や觀測部規約の制定（別頁を見られよ）があり、それから三澤勝衛、池田政晴兩氏を名譽會員に推薦の件及び池田氏を新たに會計監督に推戴する件を決議し、又、三宅氏が新たに會計に就任する件を決した。閉會後、同志十名ばかり座に居残り、水野氏製作の星座カルタに打ち興じ、夜十一時過ぎ寢についた。

編 輯 後 記

色んな雑誌の新年號が餘程前から、本屋の店先を賑かして居るのに、天界は只今やつと第一回の校正を終りました。決して怠けて居たわけぢやないんです。これでもお正月の太陽位はスピードをかけたつもりですから。

吉例によつて本號はグラフ版にしました。こゝで最も誇りたいのは、今夏歸朝された本會前副會長上田博士のアメリカ畫帖を掲げ得た事で、多くの珍しい天文臺風景は他所では一寸手に入りかねるものばかりです。又先月から朝日新聞の魚眼氏が花山天文臺に見學に來て居ります。同氏の見聞録も亦風變りですから尊覽に供する事にいたしました。

この土曜日（十九日）の晩、編輯同人の歳末相談會を聞きました。會するもの山本・上田・百濟・竹田・能田・中村・稻葉・村上・柴田・高木・池田・三宅の十二氏、來年度の天界編輯の指針を得やうと、各自の意見を談じつくして、夜の更けるのも忘れました。で今後は多少調子を變へて入門讀者の手引きとなる様なものを加へると同時に、成るべく長文を避け、趣味的に書かれたのを多くする事にしました。さしづめ二月號には能田・村上・柴田の諸氏が輕妙な筆を振られる筈です。尙觀測關係は完全を期するために、編輯責任を分けて中村・稻葉・村上・柴田の諸氏が之に當る事になりましたので、一層の御期待を願ひます。又一般會員からの投書は従前通り歡迎いたしますが締切は前々月末一パイですから、そのおつものに願ひます。

來年度の天文年鑑はもう程なく發行される筈です。この編輯は半年も前にすんで居たのですが、出版關係で多少手間取り意外に遅れたのは残念です。只今の所年鑑の出版は極めて機性が大きいので、去日の編輯會でも大分議論が出たのですが、苦痛をしたので續刊するつもりで居ります。出すからには一生懸命にやりますから、會員諸兄の御力添へを願ひます。

では御機嫌よく御越年なさいませ。（十二月二十一日）